

埼玉 アーツシアター 通信

2015 11月-12月

SAITAMA
ARTS THEATER
PRESS
VOL.60



『蜷の綿 -Nina's Cotton-』

近藤良平とハンドルズによるダンス公演
『いつまでも 親のすねは かじれない』

バッハ・コレギウム・ジャパン
ヘンデル《メサイア》

チョ・ソンジン

佐藤俊介

インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック

『DUST —ダスト』

INBAL PINTO & AVSHALOM POLLAK "DUST"

2015 **11月-12月**

SAITAMA
ARTS THEATER
PRESS
VOL.60

CONTENTS

- 03 〈PLAY〉 蜷川幸雄の半生を舞台化する
『**蜷の綿-Nina's Cotton-**』
藤田貴大 Interview
- 07 参加者・観覧者募集!
- 08 〈DANCE〉 イスラエルでの初演作品を再び踊る
インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック『DUST-ダスト』
森山未来 Interview
- 10 〈DANCE〉 近藤良平とハンドルズによるダンス公演
『いつまでも 親のすねは かじれない』
近藤良平 Interview
- 12 〈MUSIC〉 クリスマスは《メサイア》—メロディメーカー、ヘンデルによるイエスの名場面集
バッハ・コレギウム・ジャパン
ヘンデル《メサイア》
- 14 〈MUSIC〉 ショパン国際ピアノ・コンクール優勝! いま一番聴きたいピアニストが彩の国にやってくる
ピアノ・エトワール・シリーズVol.28
チョ・ソンジン
- 16 〈MUSIC〉 ピリオド楽器で演奏するロマン派の音楽 その場で生まれたかのような姿を届けたい
佐藤俊介の現在Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し
佐藤俊介 Interview
- 18 REVIEW
- 20 イベントカレンダー / チケットインフォメーション / 彩の国シネマスタジオ
- 23 INFORMATION
- 24 〈COLUMN〉 岩松 了 連載「どっちつかずの天使」

[表紙] インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック『DUST-ダスト』 Photo © Daniel Tchetchik

編集 © 川添史子、榊原律子 デザイン © 柳沼博雅

© 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 Published on 15.November 2015 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation

*掲載情報は、2015年10月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

藤田貴大

I n t e r v i e w

蜷川幸雄の半生を舞台化する 『蜷の綿-Nina's Cotton-』

前号で蜷川幸雄の口からも発表された、来年2月の新作『蜷の綿-Nina's Cotton-』。蜷川幸雄の半生を舞台化するという誰も思いつかなかったアイデアを自ら出し、戯曲を書き下ろすのが、今年30歳になったばかりの藤田貴大だ。大学在学中に旗揚げした劇団マームとジブシーの主宰・作・演出として早くから注目を集め、劇作家の登竜門とされる岸田國士戯曲賞を26歳で受賞した新鋭が、50歳年上の巨大なライバルに向ける眼差しとは？

取材・文 ● 徳永京子 (演劇ジャーナリスト) Photo © 細野晋司

50歳年下の演出家に誠実に向き合ってくれた

出合いは2年前。藤田が演出した舞台「cocoon」(2013年初演)の劇評を新聞で読んだ蜷川が、その評判を確かめに行ったことに始まる。

「蜷川さんが来るとなった時は周りが大騒ぎで、とても厳しい人だからと脅されたんです。僕もどうせけなされるんだらうと思っていたんですけど、終演後すぐに蜷川さんが楽屋に来て、すごきつい握手をしてくれたんです。それから笑顔で、(稽古中に)怒鳴ったでしょう、と言ってくれたのが、ものすごくうれしかった」

同名コミックが原作のその作品は、沖縄戦に動員された少女たちより着想を得たもの。北海道に生まれ、平和を当たり前前に享受して育った藤田は、第二次大戦に、沖縄に、どう向き合っただけを演劇にするかを自分に厳しく問い、俳優やスタッフと何度も沖縄に足を運び、チームにも高い要求をし続けた。

「気持ちよかったのは、蜷川さんが作品の内容よりも先に、つくるスタンスを読み取ってくれたことでした。「cocoon」は僕にとって渾身の作だったんですけど、蜷川さんは僕らの稽古の風景を見てくれたような感覚があって、演出家として誠実に向き合ってくれたと感じたんです」

そのあとすぐ「僕に戯曲を書いてください」と依頼されるが、蜷川を題材にすることは、ほとんど直感で決めたという。「50歳年下の若者にいきなり新作を頼むなんて、なかなかできないじゃないですか(笑)。それを躊躇なくするのはどんな人なんだらうと興味がわきました。それに、職業に関わらず人が80年生きるってすごいこと。うちのばあちゃんもそうだし、今生まれた子どもがこれから80年生きることを考えると、それ自体がとんでもない。その中で演出家は、自分以外の人間の人生をたくさん扱って、それを鏡にしたり、自分が鏡になったりしながら生きていく。そのボリュームを蜷川さんの人生と重ねて描けたらと思いました」

その時代を知らない僕の視線で、蜷川さんの体験を描く

戯曲の執筆のため、この1年の間に、幼少期からの記憶をたどる蜷川本人へのインタビューと、同時代を走った複数の関係者へのインタビューを行った。

「今の時代、調べようと思えばインターネットで大体の略歴はわかるし、蜷川さんについて書かれた本も何冊も出ている。でも僕が興味深いのは、インタビュー中に感じた蜷川さんの眼差しや息遣いなんですね。日によっては体調が悪くて声小さかったり、何か言った後の間が長かったりということもありました。でも目は牙え渡っていたりして、そういう、会わないとわからなかった手触りや体温みたいなものを戯曲に生かしたい。そこにこそ、僕が書ける蜷川幸雄があると思っています。と同時に、歩きたいとか前に進みたいという気持ちを自分の体が阻止するという今の状態も戯曲に落とし込みたい。そうして、作品そのものが蜷川さんの肉体のように見えればいいなと考えています」

インタビューで得た感触は、不思議なタイトルにも込められている。

「蛭って、巻貝とか渦状のものを意味する漢字らしいんです。ワタにはハラワタという意味を込めて、蜷川さんの内側のことを描きたいと。でも“腸”ではなく“綿”にしたのは、びっくりするぐらいデリケートで優しいということを会う度に感じたので。世間の見られ方は鬼の演出家かもしれませんけど、めちゃくちゃ繊細だし潔癖。だから、どうしてこうデリケートに育ったのかとか、そういう面を描きたいなと、この題名にしました」

また、彩の国さいたま芸術劇場の小ホールで、藤田自身が演出する『蜷の綿-Nina's Cotton-』も上演されることが決まった。

「僕が書くけど、もともになっているのは蜷川さんの話なので、語られた空襲や学生運動の時代を僕は知らないんですよ。それを蜷川さんはリアルタイムの視線で描くんじゃないかという気がする。でも僕にとっては過去なので、当然、扱いは違ってくる。こんなふうに、劇作家よりも演出家が題材についてリアルに知っていることって、あまりないじゃないですか。だから両方観てもらったら、その違いがわかって絶対に何倍もおもしろいと思います。自分で演出することはまったく考えず、普段とは違う文体で書いているので、いざ演出すると実は僕に不利というか(笑)、正直怖いんですけど、僕も蜷川さんを同じ時代に生きているライバルだと思っているので、負けないように演出します」

発売日 一般 12.13(日) メンバーズ 12.5(土)

『蜷の綿-Nina's Cotton-』蜷川幸雄 演出版

2016年**2.9(火)～28(日)** 彩の国さいたま芸術劇場 インサイド・シアター(大ホール内)
[作]藤田貴大 [演出]蜷川幸雄 [出演]さいたまゴールドシアター、さいたまネクストシアター
チケット(税込) 全席自由(整理番号付) 一般 5,000円 メンバーズ 4,800円 U-25*(枚数限定) 4,000円
2作品セット券 一般 9,000円 U-25*(枚数限定) 7,000円



★印は映像収録のため場内にカメラを設置いたします。

『蜷の綿-Nina's Cotton-』藤田貴大 演出版

2016年**2.11(木・祝)～25(木)** 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
[作・演出]藤田貴大 [出演]マームとジブシー
チケット(税込) 全席自由(整理番号付) 一般 4,500円 メンバーズ 4,300円 U-25*(枚数限定) 3,500円
2作品セット券 一般 9,000円 U-25*(枚数限定) 7,000円



★印は映像収録のため場内にカメラを設置いたします。

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。
*2作品セット券はSAFチケットセンター(0570-064-939)でお取扱いいたします。前売りのみ。

作品そのものが
蜷川さんの肉体のように
見えればいいなと

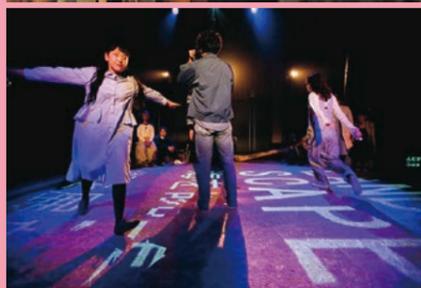
About

藤田貴大 & マームとジプシー

演劇界注目の才能、1985年生まれ藤田貴大（ふじたたかひろ）は、現在30歳。作品ごとに出演者とスタッフを集め創作を行う「マームとジプシー」を2007年に旗揚げし、全作品の作・演出を担当している。記憶をテーマにした作品や、リフレインで同じシーンを別角度から見せる手法で注目を浴び、2011年に発表した三連作『かえりの合図、まてた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。』で第56回岸田國士戯曲賞を26歳で受賞。2012年からは「マームと誰かさん」シリーズを企画し、大谷能生（音楽家）、飴屋法水（芸術家・演出家）、今日マチ子（漫画家）、穂村弘（歌人）、名久井直子（ブックデザイナー）など他ジャンルのアーティストとも積極的に作品を作っている。2013年には初の海外公演を成功させ、同年、沖縄戦に動員された少女たちを描いた『cocoon』（原作＝今日マチ子）は大きな話題となった。

マームとジプシーの活動の他に、北九州芸術劇場プロデュース公演『LAND→SCAPE/海を眺望→街を展望』、福島県立いわき総合高等学校で演劇専攻の生徒と発表した『ハロースクール、バイバイ』なども創作。2014年野田秀樹の戯曲『小指の思い出』を演出、東京芸術劇場プレイハウスで上演し、初の中劇場進出を果たした。

演劇以外の活動としては、初の短編小説『N団地、落下。のち、リフレクション。』（新潮社）を発表するなど幅広く活動。演劇界にとどまらず、大躍進中の才能だ。



写真上から

『AAA かえりの合図、まてた食卓、そこ、きっと』(2011年) Photo ©橋本倫史

マームと誰かさん・ごにんめ
名久井直子さん（ブックデザイナー）とジプシー
(2014年) Photo ©橋本倫史北九州芸術劇場プロデュース
『LAND→SCAPE/海を眺望→街を展望』
(2012年) Photo ©木寺一路 提供：北九州芸術劇場『小指の思い出』(2014年)
Photo ©園田昭彦 提供：東京芸術劇場

『cocoon』再演(2015年) Photo ©橋本倫史

参加者・観覧者 募集!

彩の国さいたま芸術劇場では、
劇場体験ツアー、伝統芸能フェスティバルを開催!
この機会に舞台や伝統芸能を、
もっと間近で体験してみるのはいかがでしょうか。

彩の国さいたま芸術劇場
「劇場体験ツアー」
参加者募集

芝居、音楽会、ダンスに欠かせない照明や音響、そして小道具や衣裳。劇場には客席からは見ることができない、たくさんの仕掛けが詰まっています。そんな驚きいっぱいのバックステージを、親子で一緒に体験できるのが「劇場体験ツアー」です。普段は立ち入ることのできない舞台の上や、奈落と呼ばれる劇場の地下に皆さんをご案内します。スタッフが照明や効果音を操作する様子をのぞいたり、出演者が出演までの準備をする楽屋を訪問したり、彩の国さいたま芸術劇場大ホール舞台裏をくまなく冒険します! この冬、劇場体験ツアーで、新たな発見をしてみませんか?



Photo ©加藤英弘

[日時] 12.23 (水・祝)、24 (木)、25 (金)、26 (土)、27 (日)

各日① 11:00 ~ ② 13:30 ~ ③ 15:30 ~ (5日間計14回開催)

※24日(木)は②③のツアーのみ ※開場は各回ともにツアー開始の20分前

※ツアーは1時間程度を予定

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[対象] 小学生とその保護者

※未就学児童の参加はご遠慮いただいております(有料託児サービスあり)。

※親子で一緒にお楽しみいただくツアーです。高学年のお子さまの場合でも、できるだけ保護者の方が一緒にご参加ください。

[定員] 各回30名(応募多数の場合は抽選)

[料金] 300円(子ども・大人共通/保険料込み) ※当日受付にてお支払いください。

[申込み方法] 申込用紙(財団ホームページ<http://www.saf.or.jp/>からダウンロード)に必要事項をご記入の上、FAXまたはご郵送いただくか、彩の国さいたま芸術劇場窓口にてお申込みください。当選者におのみ参加証の発送とお電話での通知をもって抽選結果の発表にかさせていただきます(12月上旬予定)。

◆郵送：〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

彩の国さいたま芸術劇場「劇場体験ツアー係」

◆FAX：048-858-5515

[申込み締切] 11月28日(土) 必着

[お問合わせ] 彩の国さいたま芸術劇場 TEL：048-858-5500 (休館日を除く10:00~19:00)

埼玉伝統芸能フェスティバル
～鷲宮催馬楽神楽・熊谷歌舞伎の世界～
観覧者募集

今回の伝統芸能フェスティバルは、神楽に歌舞伎芝居、そして獅子舞と多彩なプログラムとなっています。伝統芸能に親しんでいただくため、ミニ解説も行います(入場無料)。

関東最古の神社といわれている鷲宮神社に伝わる鷲宮催馬楽神楽は、「関東神楽の源流」といわれ、1976年に、国の第1回目の重要無形民俗文化財の指定を受けています。素面の巫女二人が舞う「祓除清浄杵太麻之段」と、悪魔を降伏させ、諸々のたたりを鎮める神楽として勇壮に舞われる「鎮悪神発弓靱負之段」を披露します。

一方、熊谷歌舞伎では、熊谷次郎直実が主人公の「一谷嫩軍記熊谷陣屋之場」を熊谷歌舞伎の会が上演。平 敦盛の身代わりとして我が子の首を討たざるを得なかった直実の苦悩。「十六年はひと昔、夢だ夢だ」の名せりふが心に残る、歌舞伎屈指の名作です。



[日時] 2016年 1.17 (日) 開演 13:00

[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[演目] 川角獅子舞保存会(毛呂山町)「川角の獅子舞」

熊谷歌舞伎の会(熊谷市)「一谷嫩軍記熊谷陣屋之場」

鷲宮催馬楽神楽保存会(久喜市)「祓除清浄杵太麻之段」

「鎮悪神発弓靱負之段」

[申込み方法] ①代表者の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号と②観覧者全員の氏名(ふりがな)、年齢を明記の上WEB、E-mail、はがき、FAXにてお申込みください。※1回の申込みにつき4名まで。定員700名(自由席)申込多数の場合は抽選の上、入場整理券を12月9日(水)までにお送りします。

[申込み締切] 11月25日(水) 必着

[申込み先] 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県文化振興課「伝統芸能フェスティバル」係

FAX：048-830-4752 E-mail：a2875-01@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0305/dentogeino-h27.html>

[お問合わせ] 埼玉県文化振興課 TEL:048-830-2879 (土日・祝日を除く8:30~17:15)

[主催] 埼玉県、(公財)埼玉県芸術文化振興財団

[協力] 熊谷市教育委員会、久喜市教育委員会、毛呂山町教育委員会、小鹿野町教育委員会、小鹿野歌舞伎保存会



電子申請・届出サービスページへ

イスラエルを代表するダンス・カンパニー、インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック ダンス・カンパニーの2013年初演作が、1月、来日決定。2013年10月から文化庁の文化交流使として1年間イスラエル等に滞在、同カンパニーで活動し、この作品にクリエイションから参加した森山未来に、創作過程を語ってもらった。

インバル・ピント & アヴシャロム・ポラック『DUST-ダスト』
イスラエルでの初演作品を再び踊る

Interview

森山未来

取材・文◎川添史子

Photo◎宮川舞子

Mirai Moriyama

ジャズダンス、タップダンス、クラシックバレエ、ヒップホップなどのダンスを始め、1999年『ボーイズ・タイム』で本格デビュー。以来、舞台・ドラマ・映画で幅広く活躍。シディ・ラルビ・シェルカウイ、インバル・ピント&アヴシャロム・ポラックなど、近年は世界的に活躍する振付家のダンス作品に出演。大植真太郎や平原慎太郎との共作『談ス』、自ら企画したエラ・ホテルド振付『JUDAS, CHRIST WITH SOY ユダ、キリスト ウィズ ソイ』など積極的に作品を次々と発表。2013年10月から文化庁の文化交流使として1年間イスラエル等に滞在。

—『DUST-ダスト』(2013年12月初演)は、森山さんがイスラエルに渡って参加した1本目の舞台。寄宿舎のような空間をゆるめく子どもと大人たちが紡ぐ、詩的でイメージ豊かな作品です。

向こうは基本的に9月からシーズンが始まるので、10月にイスラエルに到着してすぐ、まだ住む家も決まっていなかった時期に、稽古に合流して参加した作品です。クリエイションはすでに始まっていましたが、僕が入ってからも、大分変化していった気がします。机とイスのある空間で、男が生徒たちを雑に扱うというような最初の場面に見られる設定はすでに出来上がっていて……「FLOOD (洪水)」という言葉からイメージを起こすという作業を結構やりました。いわゆる災害の洪水だけでなく、人のフラストレーションがたまっている感情の洪水。あと、テスト用紙、紙を使って

動きのアイデアを出していったのですが、それも情報にまみれた洪水のイメージだと思います。

—洪水というと日本の観客の皆さんは、東日本大震災を想起するかもしれません。

そこからもインスパイアされていると思いますし、常に政治的緊張状態にあるイスラエルの情勢というのもあると思います。人の鬱憤の洪水、「なぜこういう状況なのか」と常にフラストレーションを感じながらの生活。あちらに行く前は「混沌としている場所」ぐらいしか知識がなかったけれど、状況は向こうに行くと初めて分かっていったし、過ごせば過ごすほど明確になりました。実際に戦争が始まった時に居合わせましたし。

—子どもはみんな同じ衣装ですが、一人ひとりキャラクターがあります。森山さんは青い服の男とのやりとりが多いように感じました。

一番最初は、横柄な態度の男についてまわる男の子みたいな設定だったんです。自分の存在をその人に捧げている人みたいな、学校で言ったら学級委員長で優等生って言われて、「そんなキャラクターはつまらない」って言って(笑)、そこからまた膨らませて。例えば、虫を追っているような動きの場面は、何気なく「ハエ」って言葉を僕が言ったところから生まれた。ハエを探している人、ハエが気になって気になって



Photo◎Daniel Tchetchik

インバル・ピント & アヴシャロム・ポラック

Inbal Pinto & Avshalom Pollak

インバル・ピントはグラフィック・デザインを学んだ後、バトシェバ舞踊団に参加し、ダンサー・振付家として活躍。俳優として活躍していたアヴシャロム・ポラックに出会い、1992年にインバル・ピント&アヴシャロム・ポラック ダンス・カンパニーを設立。ベッシー賞を受賞した『Wrapped』(1998年)をはじめ、『オイスター』(1999年)、『ブービーズ』(2002年)など革新的で想像力豊かな傑作を発表。2007年彩の国さいたま芸術劇場で国際共同製作『Hydra ヒュドラ』を世界初演。カンパニー活動以外にもオペラや演劇の振付・演出も行っている。今年8月に東京芸術劇場でミュージカル『100万回生きたねこ』の再演を手掛けるなど、日本でも積極的に作品を発表している。



仕方のない人。イスラエルの街ってゴミが本当に多くて、ハエの数がものすごいんですよ。そこら中にゴミ箱が並んでいるんですけど、分別もなく家具や電化製品が一緒に捨てられていて。あちらに到着して、文化とか肉体的なこともあって焦りもある時期で、そういった小さなことが気になっていんだと思います。

新たな風景を見せてくれた イスラエルでの経験

—カンパニーのクリエイションプロセスも気になります。

インバルは、描いたスケッチを見ながら、なぜこういう絵を描いたかっていう説明をして、それを元に出演者がインプロヴィゼーション(即興)で動きを提示する。それをやっているうちにインバルがまた絵を描く。だから、絵から人間の身体になって、人間の身体からまた絵になって……と連想ゲームみたいなことをやっていくんですよ。そこから美術が生まれたり衣装が生まれたり、身体のフレーズが生まれたりする。アヴシャロムの場合は、ドラマトウルク的な役割で、言葉で投げ掛けてくる。大きな木に例えたら、アヴシャロムは幹をつ

くる。インバルはそこに枝葉をつけて、花をつけるのか、実をつけるのかという作業。そういうバランスなんですよ。インバルだけだと葉っぱばかりが広がってうっそうとした茂みになってしまう(笑)。アヴシャロムだけだと、幹はしっかりしているけど、どこか殺風景になってしまうし。彼らが手掛けた『100万回生きたねこ』に出演した時に、その二人の辿るプロセスがものすごく興味深かったので、イスラエルを選んだんです。〈個人の顔〉をフィーチャーしていくように作品をつくるんですよ。—お話を伺っていると、イスラエルでの経験が実りの多いものだったんだと伝わってきます。

異邦人ならではの意味の〈無責任さ〉を味わえたのはよかったです。僕がどんな踊りを見せようと、いい悪いでしか判断しないし、余分なものがついてこないんです。評価されなかったら純粹に発奮しますし。クリエイションすることって、すごく難しいと思っていたところがあったんですけど、メンタルな部分での、てらいというか臆病さみたいなものが減りました。日本では、踊りから離れていた時間もあってセンシティブになっていた部分があったんだと思います。1年間丸々、踊りのことだけを考えて過ごす時間を得て、久しぶりの感覚を戻せた気もしたし、同時に昔のままの光景でもない。また別の「いい場所に立てそうだな」という、シンプルな気持ちになれました。

チケット発売中

インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック『DUST-ダスト』

2016年1.28(木)・29(金)開演19:00 30(土)・31(日)開演15:00
彩の国さいたま芸術劇場 大ホール[振付・衣裳・美術・音楽デザイン]インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック
[出演]インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック ダンス・カンパニー
アリエル・ゲルバート、ツヴィ・フィッシュゾン、ノガ・ハルメル
モラン・ミュラー、森山未来、コルデリア・ランゲ、アミト・マルシノチケット(税込) 一般 S席6,500円 A席4,500円
U-25* S席3,500円 A席2,000円 メンバーズ S席5,850円 A席4,050円*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。
※演出の都合により、開演時間に遅れますとお席へのご案内ができない場合がございます。予めご了承ください。

Photo◎Daniel Tchetchik

近藤良平とハンドルズによるダンス公演 『いつまでも 親のすねは かじれない』

近藤良平 (コンドルズ) Interview 聞き手: 岡田美保 (埼玉福祉部障害者福祉推進課 障害者芸術・文化担当)



コンドルズ主宰・近藤良平と、埼玉県内の障がい者がワークショップを経て結成したダンスカンパニー「ハンドルズ」。2年に一度彩の国さいたま芸術劇場で作品を発表している彼らの最新作が間もなくやってくる。埼玉県福祉部の岡田を聞き手に、障がい者とのクリエイションについて近藤に聞く。

取材・文 ● 川添史子 Photo ● 宮川舞子



平成25年度『僕はもう動いてないとダメなんだ』 Photo©HARU

ハンドルズとは？

近藤良平と埼玉県内の障がい者が長期間のワークショップを経て結成したダンスカンパニー。半分コンドルズ(コンドルズを目指すまだまだ未熟)、ハンディキャップ、ハンドリング(車いすの操作)に由来。出演者のアイデアで命名。

【これまでの公演】

平成21年度『突然の、何が起るかわからない』
平成23年度『適当に やっていいこと 思ったの』
平成25年度『僕はもう動いてないとダメなんだ』



岡田 一番最初に「ハンドルズ」とかかわるようになったきっかけを伺えますか？

近藤 最初、埼玉県の担当者からお声がけいただいた時は、障がい者の方たちと一緒に作品をつくる経験がなかったんです。障がい者との作品づくりで有名な「カンドゥーコ・ダンス・カンパニー」というイギリスのカンパニーのワークショップの手伝いをさせてもらったことはありましたが、ガッツリ自分が中心でというのは初めてだったので、「何も分からないのですが、とりあえずワークショップをしてみましょう。本当に作品になるかは分かりません

よ』ってお話をしたんです。

岡田 スタート時は作品をつくるのが目的ではなかったんですね。

近藤 障がい者だろうが健常者だろうが、人と人が初めて出会って作品をつくるのは、どうなるか読めないことが多いので、それに「面白くなる」という保証で、こういったことに向かうのも何か違うと思って。勇気と覚悟を持って皆さんとまず出会ってみようという気持ちで始めました。

岡田 みなさんの第一印象は覚えていらっしゃいますか？

近藤 上手く言えないんだけど……「フ

近藤良平

コンドルズ主宰・振付家・ダンサー。ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。コンドルズは世界30カ国以上で公演。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。NHK教育「からだであそぼ」内「こんどうさんちのたいそう」などで振付出演多数。NODA・MAP「THE BEE」で鮮烈役者デビュー。NHK連続TV小説「てっぺん」オープニングなどの振付も担当。立教大学、桜美林大学などで非常勤講師を務める。愛犬家。



ワッとこちらを見てるな』っていう印象(笑)。なんだろう……整列をするワケでもなく……。

岡田 リラックスしてたんでしょうか？

近藤 初対面は、それさえも分からなかった。でも僕はそういうよく分からない感じが好きというか、全然大丈夫なので(笑)面白いなって思ったし、徐々に交流していくうちに「この人は冗談好き」「真面目な奴」「神経質」とか、分かるようになってきた。

岡田 一人ひとりの個性が見えてきたんですね。

近藤 そうそう。性格が分かってくると楽しくなってきた。実は僕、大学生の時に教育実習で養護学校へ行ったのですが、話しかけても通じないし、当時は「僕には何もできない」って落ち込みましたし、どうやって触れたらいいかも分からなかった。「ハンドルズ」をやりはじめたころは、そんなことも思い出しました。

岡田 どこまで彼らに踏み込めばいいのか、最初は分からないかもしれませんね。

近藤 でも、車いすから下ろしたり、床に寝転んでもらったり、日常生活だったら問題かもしれないことをやっても、何の問題もないと分かったんです。作品というか、ワークショップという場なら何を試みても大丈夫だったし、本人たちが意外と面白いて思ってくれて、抵抗感なく試してくれました。



新しいスタートとなる新作

岡田 同じ方が毎回参加されてますし、事情があって参加できなくなった方からは「本当に残念」という声がきかれます。いかにハンドルズが心地よい場所になっているかという証拠ですね。

近藤 みなさんに「無理をさせる」のは一番危険なことですし、ワークショップをやることと作品を発表することは、かなり労力が違います。要は、作品をつくるには、頑張って乗り越えてもらわないといけないハードルがあるんです。一回目のタイトル『突然の、何が起るかわからない』は彼らに五七五で書いてもらった中から僕が選んだんですが、本心もいいところのタイトル(笑)。でもいざ本番がはじまったら、1時間以上の作品ができたし、その年は2回の本番もこなし、本人たちは「楽しかった」とケロツとしていた。僕たちが思っていた以上に彼らが味をしめたというか「面白いぞ」って思ったんじゃないかな。だからそうやって続けて来てくれるんでしょう。それまでも、何かの〈発表の場〉というのはあったと思うんです。でも施設の中でやるようなイベントは行事なんですよ。やはり僕が関わるなら〈ハレの場〉というか、「頑張ったね」というねぎらいの拍手ではなく、「これは、すごい!」という拍手がくるような、日常とは違う場にしたいとは思っています。

岡田 新作の構想も伺えたらと思います。

近藤 とにかくやろうと挑んだ初年度を経

チケット発売中

第6回埼玉県障害者アートフェスティバル 近藤良平と障害者によるダンス公演

近藤良平とハンドルズによるダンス公演
『いつまでも 親のすねは かじれない』

12.5(土)開演15:00 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

[構成・振付]近藤良平

[出演]ダンサー:ハンドルズ19名(予定) 近藤良平 山本光二郎(コンドルズ)
音楽ユニット:IMO(アイエムオー)楽団【今回初出演】

チケット(税込) 全席指定 2,000円(障がい者割引 1,500円)

[主催]埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会

[共催]公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

[お問い合わせ]埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会事務局
(埼玉県福祉部障害者福祉推進課内) TEL.048-830-3312

※チケットはSAFチケットセンター(0570-064-939)でお取扱いいたします。

て、2回目は震災の年で公演ができたことが奇跡。心労で出られないメンバーもいて感慨深い年で、同時に継続できることが喜びでした。で、3回目はそれまでの面白いネタをいっぱい使って、自信を持って捧げた。で、今年は僕の中では一度リセットというか、「また新しいことを見つけられたらな」という思いで挑みます。実験的なことも含めてやっている心意気を再確認し、また、新しいスタートだと思っています。観客とアーティストと障がい者が交錯する場というのは可能性を秘めているでしょうし、やっぱり、やっていて面白いんですよ。そういえば、蜷川幸雄さんも一回稽古場に遊びにきてくれたんですよ。自分の名前前で動きをつくるってワークショップをやっていた時で「蜷川さんもやってください」ってお願いしたらちょっとやってくれて。メンバーの様子を見てたら、ジッと凝視してる人もいたし、「この人誰?」ってぜんぜん見てない人もいて。あの様子も面白かったよね(笑)。



クリスマスは《メサイア》

——メロディメーカー、ヘンデルによるイエスの名場面集

日本の年末の音楽といえば「第九」だけでも、世界の年末の音楽は「♪ハーレルヤ」の合唱でおなじみ、ヘンデルの《メサイア》。彩の国さいたま芸術劇場では、世界的な古楽演奏団体バッハ・コレギウム・ジャパンの演奏が、クリスマス前の日曜日を彩る。《メサイア》は華やかな音楽かつイエスを描いた作品ゆえにクリスマスの定番の音楽になったのだが、キリスト教が題材と聞くと、難しそう……と考えがち。でも、実は、教会のための宗教曲ではなく、劇場のためのエンタテインメント作品であることをご存じ？

文 ● 飯尾洋一 (音楽ライター)

「ハレルヤ・コーラス」は起立する？ しない？

作曲家ヘンデルは稀代のメロディメーカーである。たとえクラシック音楽に親しんでいない人であっても、ヘンデルが作ったメロディをいくつも知っていることだろう。

たとえば、表彰式のBGMとしておなじみの〈見よ、勇者は帰る〉。ヘンデルのオラトリオ《ユダス・マカベウス》に登場する1曲だが、オラトリオを知らずとも、このメロディだけはどこかで必ず耳にしているはずだ。あるいはテレビ・ドラマやCM等によく使われるオペラ・アリア〈私を泣かせてください〉や〈オンブラ・マイ・フ〉。タイトルにピンと来なくとも、聴けば「ああ、あの曲か」とわかるだろう。《王宮の花火の音楽》や《水上の音楽》なども、広く親しまれている。

そして、かの有名な「ハレルヤ・コーラス」。名曲ぞろいのオラトリオ《メサイア》のなかでも、もっとも知られる1曲である。晴れ晴れとして軽快なメロディは、シンプ

ルにしてキャッチー。ヘンデルの偉才を感じる。

この「ハレルヤ・コーラス」には有名な逸話がある。1743年、初めてロンドンで演奏された際に、この場面で国王ジョージ2世が思わず立ち上がったところ、聴衆も総立ちとなったと伝えられる。この逸話にない、現代でも《メサイア》が演奏されると「ハレルヤ・コーラス」の場面で聴衆が起立するという習慣が一部に残っている。

実のところ、この習慣にはいささか困った面もある。というのも、コンサートの途中で客席で立ち上がるにはそれなりの勇気を要する。さあ、「ハレルヤ・コーラス」が始まったと勢よく立ち上がったものの、ほかのお客さんはみんな座ったままで、なんだかきまりが悪い、といったこともありうる。かといって、微妙に腰を浮かせながら、周囲の様子をきょろきょろ観察するのも、落ち着かない。

立つべきか、立たざるべきか。この問題については、以前、バッハ・コレギウム・ジャパンが《メサイア》を演奏した際に、指揮の鈴木雅明氏が興味深い話を披露してくれた

鈴木雅明

(指揮 / バッハ・コレギウム・ジャパン 音楽監督)
Masaaki Suzuki

神戸市出身。1990年「バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ)」を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。BCJとともに欧米の主要なホールや音楽祭に数多く出演し、高い評価を積み重ねている。近年は主に海外のモダン・オーケストラとの共演で多彩なレパートリーも披露。2013年にはBCJ合唱団を率いてニューヨーク・フィル定期にデビュー、大きな成功を収めた。2012年ライブソフィヒ市より「バッハ・メダル」を、2013年度サントリー音楽賞をBCJと共に受賞。現在、米国イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授。

Photo © Marco Borggreve

ことがある。いわく、「イギリスだと今でも起立する人も多いのですが、オランダだと皮肉な人が多いのでしょうか、だれかが立つと『あら、あの人まだあんな古い伝統にしがみついているのね』みたいな目線を投げかけたりします。起立したい方は起立すればよいですし、したくない方はしなくてよいでしょう」。

もっともな話である。聴衆は好きなようにすればいいのだ。

オラトリオとは 劇場で楽しむエンタテインメント

さて、《メサイア》という作品はオラトリオに分類される。オラトリオとは主に宗教的あるいは道徳的な題材を扱った合唱入りの大規模な作品のことを指す。オペラと同

様にストーリー性を持っているのだが、オペラと違って歌手は演技をしないし、舞台装置も要しない。もともとヘンデルはオペラ作曲家としてロンドンで盛名を馳せていたが、やがてヘンデルのオラトリオはオペラをしのぐ人気を獲得することになった。王侯貴族から中産階級へと移行しつつあった当時の聴衆は、イタリア語のオペラよりも母国語である英語のオラトリオを歓迎し、また親しみやすい聖書の物語を好んだ。忘れてはならないのは、これらのオラトリオが教会ではなく、劇場の音楽だったことである。つまり、宗教的な題材を扱っているにしても、それは礼拝や式典のための格式ばった音楽ではなく、人々が劇場で楽しむためのエンタテインメントだったのだ。物語があり、独唱者があり、合唱があり、

オーケストラがある。オペラのような舞台装置はないにしても、これは十分に華やかな演し物といえるだろう。

名曲づくしの《メサイア》でヘンデルの音楽の美しさを感じよう

では、《メサイア》(=メシア、救世主)の物語はどんなものか。ここではイエス・キリスト降誕の預言とその成就、そして受難と復活に至るまでが描かれる。全体は、第1部「救世主生誕の預言と、降誕」、第2部「受難と復活」、第3部「永遠の生命」の3部からなる。ただし、ここで描かれる物語はいわばイエスの名場面集とでもいうべきものであって、一本道のつながったストーリーにはなっていない。題材が聖書だけに、逐一説明的な描写も入らない。しかもイエ

シェレザード・パンタキ (ソプラノ)

Sherezade Panthaki



Photo © John Sarsgard

国際的に活躍している古楽界の新星。研ぎ澄まされた音楽性と「輝かしい声」(ワシントン・ポスト紙)を持ち、高い評価を受けている。2013年鈴木雅明指揮の下、ニューヨーク・フィルと初共演。ウェストヴァージニア・ウェスレヤン大学卒業、イリノイ大学修了、イェール大学にてアーティスト・ディプロマ取得。インド出身。

クリストファー・ローリー (カウンターテナー)

Christopher Lowrey



Photo © Rebecca Fay

アメリカ出身。ケンブリッジ大学、英国王立音楽院他に学ぶ。エンシェント室内管弦楽団、ボストン・バロック等と共演、ヴェルサイユ王立歌劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭等に出演し、主にバロック音楽の分野で活躍する期待のカウンターテナー歌手。2010年ヘンデル声楽コンクールでマイケル・オリヴァー賞受賞。

ダン・コークウェル (テノール)

Dann Coakwell



Photo © Gregg Rookidge

バッハの宗教曲を専門とし、リリング、クリスティらと共演。2014年ニューヨーク・リンカーンセンターでソロデビュー。バツァアカデミー・シュトゥットガルト、オレゴン・バツァ音楽祭等に出演し、アメリカ国内外で活躍する若手有望テノール歌手。2015年BCJ定期公演でソリストとして日本デビュー。イェール大学声楽科講師。

ベンジャミン・ベヴァン (バリトン)

Benjamin Bevan



Photo © Jason Dodd

ロンドン・ギルドホール音楽院に学び、ローザヌ歌劇場の《チェネントラ》で国際的なオペラデビューを飾る。2015年英国ロイヤル・オペラ・ハウス《魔笛》に出演するなどヨーロッパの主要なオペラハウスで活躍する一方、近年はバツァなど古楽の分野での活動も目覚ましい。BCJとは2014年《マタイ受難曲》以来の共演となる。

スは第2部の途中で早々に磔刑に処されてしまう。以降は主の栄光や永遠の生命を賛美するといった信仰を歌った内容となり、ドラマに動きがなくなる。その点ではバツァの《マタイ受難曲》のような作品とは趣を異にする。

しかし、だからといってキリスト教に縁のない者にとって、この作品が親しみにくいからといって決してそうではない。むしろ、一切の宗教的感情を抜きにしても、ヘンデルの持つ音楽がどれほど豊かで壮麗であるかを実感できる。1作のオラトリオに次から次へと、惜しみなく名曲が注ぎ込まれている。

全曲を聴き終えた後にはこう確信するだろう。やはり、ヘンデルほどのメロディメーカーはいない、と。

世界を席巻する若きピアニストは 現在も成長中

先に行われた第17回ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝に輝いた、チョ・ソンジン。明るく澄んだ美音とともに圧倒的に完成度の高いステージを重ね、聴衆を魅了した。10年前の2005年、当時11歳だった彼は、ラファウ・ブレハッチが優勝し、韓国のイム・ドンミン、ドンヒョク兄弟が入賞した同コンクールを見て、その舞台に憧れるようになったそうだ。今、自分がその頂点に立っていることが信じられないという。

思い起こせば、彼が最初に日本のピアノ・ファンから注目を集めたのは、2009年浜松国際ピアノ・コンクールに史上最年少の15歳で優勝したときのこと。その演奏には、確かな技術はもちろん、理想の音楽を奏するための強い意志と、奇を衒わない清い美しさがあった。

あれから6年、今年21歳となったチョ・ソンジンの音楽は、持ち前の端正な表現はそのままに、自由さや遊び心も見せるようになった。4月の予備予選から同コンクールの審査員を務めてきた海老彰子も、コンクールを視野に入れて磨き上げられた彼のショパンはこの半年で大きく成長したと語る。さまざまな刺激を吸収し、日々の鍛錬を経て大きく枝葉を広げた音楽が、今回ショパン・コンクールという場で評価されたといえるだろう。

彼が自身の音楽に影響を与えた大きな経験の一つとして挙げるのは、2011年、第3位に入賞したチャイコフスキー国際コンクールへの参加だ。強豪がひしめく中で緊張と戦い、自分の音楽と向き合う。「当時はまだ17歳で、世界や人生のことがなにもわかっていなかった。あの後、僕の中で何か

が変わったような気がしている。今のほうが感情を表に出すようになった」と言う。

その後2012年秋からはバリ音楽院に留学。フランスものや近現代作品の卓越した奏者として知られる名ピアニスト、ミシェル・ペロフに師事している。レッスンでは音楽のことだけでなく人生についても話をするといい、ゆっくり時間をとることができる朝一番の枠を希望してレッスンを受けているのだと以前語っていた。

実際、留学して少し経ったころからだろうか。作品に対しての冒険心が感じられる、解き放たれた音楽を聴かせるようになった。楽譜から作品に秘められた情感をくみとり、おもしろみを感じる音を浮き立たせることで、新鮮な印象を与える。繰り返し聴いても決して飽きることのない、ノーブルでありながらユニークな魅力が加わってきた。

《24の前奏曲》には ショパンの感情とテクニク すべてが込められている

今回、ピアノ・エトワール・シリーズ公演で取り上げるのは、モーツァルト、シューベルト、ショパン。いずれも彼が敬愛する作曲家だ。

モーツァルトはこれまでも日本のリサイタルで取り上げているが、聴くたびに、彼のみずみずしい音はモーツァルトによく合うと実感する。今回は《ロンド》KV511で、美しい音の世界を届けてくれることだろう。

そしてシューベルトは、作曲家が死の2ヵ月前に作曲した3つのソナタから、第19番を演奏する。今、なぜこのソナタを選んだのかについて、彼はこう語る。「シューベルトは大好きな作曲家のひとりです。彼の3つの最晩年のソナタは、時間

をかけて全部弾いていきたいと思っています。特に最後の第21番のソナタは、僕にとって一つの目標のようなもの。今はまだ早いと感じているのですが、いつか必ず勉強したいです。3曲中はじめに書かれた第19番はベートーヴェンへの意識がより感じられ、比較的アプローチしやすいので……そうはいつてもとても難しいですが、まずはこの作品から取り組んでいくことにしたのです」

そして後半には、ショパンの《24の前奏曲》。コンクールのステージでも披露した作品で、感情の振れ幅をダイナミックに表現する卓越した演奏を聴かせてくれた。「ショパンの作品は全部好きなのですが、《前奏曲》は特別です。静かで、ゆるやかで、美しくシンプルですが、演奏するのは本当に難しい。ショパンを知りたければ《前奏曲》全曲を聴けばいいと言えるくらい、ショパンの感情とテクニクがすべて込められた作品だと思います」

まだ最終結果が出る前のコンクール中、彼は次のようなことを言った。ある時、ショパンが20歳前に書いたエチュードの楽譜を眺めていてその天才性に改めて驚愕し、「自分はもう21歳なのに、なにも成し遂げていない。偉大な作曲家は天才であって、ピアニストである自分は彼らの下僕でしかないと感じた」

彼にとってショパン・コンクールの優勝は、何かを成し遂げたことになるのだろうか。それとも、もっとその先にあるものを目指しているというだろうか。

その演奏で、すでに世界中の聴衆に感動を与えている若きピアニスト。偉大な作曲家への敬意を胸に、また素晴らしい音楽を届けてくれることだろう。

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28

チョ・ソンジン

ショパン国際ピアノ・コンクール優勝！
いま一番聴きたいピアニストが彩の国にやってくる

10月にワルシャワで開催された第17回ショパン国際ピアノ・コンクールの栄光の第1位に輝いたチョ・ソンジンが「ピアノ・エトワール・シリーズ」に登場！

注目のプログラムは、モーツァルト、シューベルト、そしてコンクール第3次予選で圧巻の演奏を披露したショパン《24の前奏曲》全曲を弾く。コンクールで聴衆の心をわしづかみにした、ノーブルでダイナミックな王者の演奏を、聴き逃すな！

文◎高坂はる香 (音楽ライター)

©Ramistudio.com

チョ・ソンジン ピアノ

2015年第17回ショパン国際ピアノ・コンクールで第1位受賞。1994年、韓国ソウル生まれ。2009年浜松国際ピアノ・コンクールにて最年少の15歳で優勝、11年チャイコフスキー国際コンクール及び14年ルービンシュタイン・コンクールで第3位受賞。チョン・ミョンファンには15歳の時から、ソウル・フィル、チェコ・フィル、N響、フランス国立放送フィルのソリストに指名されるほか、これまでにプレトニョフ、ゲルギエフ、マゼール、テミルカーノフ等と共演。

謹告

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28
チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル
日程変更のお知らせ

2016年1月31日(日)に予定しておりました「ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28 チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル」につきましては、チョ・ソンジン氏のショパン国際ピアノ・コンクール優勝に伴い、優勝者が公式に招待されている入賞者ガラ・コンサートの日本ツアー・スケジュールと重なったため、彩の国さいたま芸術劇場でのリサイタルは日程を変更して開催することとなりました。

変更後の開催日程 2016年1月22日(金) 開演19:00

公演を楽しみにして下さっている皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げますとともに、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

チケット発売中

※残席僅少

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28
チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル

2016年1.22(金)開演19:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
[曲目] モーツァルト: ロンド イ短調 KV511
シューベルト: ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調 D958
ショパン: 24の前奏曲 作品28

チケット(税込) 一般 正面席3,500円 バルコニー席2,500円
U-25*(バルコニー席対象)1,000円 メンバーズ 正面席3,200円

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

メンデルスゾーンとシューマンの音楽をピリオド奏法でいきいきと

弟フェーリクスと姉ファニーという二人のメンデルスゾーン、夫ロベルトと妻クララという二人のシューマン。同時代を生きたこの4人の室内楽作品を一つのコンサートに組み上げるというのは、ありそうでなかった発想だ。

「メンデルスゾーンとシューマンは音楽的に非常に近い存在と言えますが、それぞれ身内の女性たちに素晴らしい才能と作品があったことも共通しています。19世紀は、まだ女性がその能力を示すには不利な時代でした。メンデルスゾーンの姉ファニーは、自らの作品を真面目に評価してもらいたがために、弟の名前で出版するということがあったようです。ファニーやクララの作品があまり演奏されてこなかったのは、決して彼女たちが二流だったからではありません。今回は女性たちの作品も紹介しながら、メンデルスゾーン家とシューマン家の

さまざまな面を取り出してみたいと思います」

この公演では、ロマン派の室内楽作品をピリオド楽器で演奏することも大きな特徴だ。チェロの鈴木秀美、ヴァイオリンの岡田誠司（昨年夏にライブツィヒで行われたJ.S.バッハ国際コンクールの優勝者であり、佐藤の弟子でもある）、ヴィオラの原麻理子、そしてヒストリカル・ピアノは佐藤の妻スーアン・チャイというメンバーが揃う。

「バロックや古典派の音楽をピリオド楽器で演奏するのは、もはや珍しいことではなくなりました。しかしロマン派以降のレパートリーはグレーゾーンのままです。メンデルスゾーンやシューマンの作品は、モダン楽器で演奏されるのが当然のように思われていることでしょうか。しかし、当時の奏法や解釈を調べ、ピリオド楽器で演奏してみると、音楽的はかなり違ってことに気付かされます。

当時のピアノの音色は透明感があり、音

量は若干弱めです。そうすると、室内楽では他の楽器との調和を取りやすくなります。また、当時のガット弦（羊の腸で作られた弦）を用いた弦楽器同士も音色を調和させやすくなるのです」

室内楽そのものに対する考え方も、当時と今とは大きな違いがあるのだという。「室内楽はもともと、友人たちと集う親密な空間でインフォーマルに楽しめるものでした。文字通り『室内』の音楽だったわけです。現代のようにコンサートホールで一糸乱れずに、少しのズレも許されないようなムードで演奏するものではなかったのです。当時は作曲家自身が演奏家でもあったので、音楽はもっと流動的なものであり、現在進行形のものでした。途中で即興的に装飾を入れたりするのはバロック音楽にルーツがありますが、ロマン派時代にもまだその名残があって、自由度の高い演奏がなされていたようです。メンデルスゾーンは即興に長けていたと言われています。このコンサートでは、その場で生まれたかの

ようなみずみずしい姿で、ロマン派の音楽をお届けしたいと思います」

二組の男女の生んだ、デュオから五重奏まで

ファニー・メンデルスゾーンには実に600曲近くのピアノ曲や歌曲がある。その中で今回佐藤が取り上げるのはピアノ三重奏曲だ。愛らしくコンパクトな第2、3楽章を選んだ。

「弟フェーリクスの三重奏曲とよく似ていますが、彼の清潔で整った書法と比較すると、ファニーの音楽は旋律に柔らかさや余白があって、より歌い回しができます」

フェーリクスの作品として取り上げるのは、弦楽四重奏曲第6番だ。「姉ファニーと直接的な繋がりのある作品です。ファニーが亡くなった直後に書かれたもので、そのショックが音楽にダイレクトに表れているのです。深い所からあふれてくる怒りのような激しさ、生々しさのある音楽です」

クララ・シューマンの作品からは《ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス》を聴かせる。

「甘い香りのする音楽で、楽章一つひとつに物語が感じられます。なかなか演奏されない作品ですが、歌心に富んだ息の長い旋律がとても魅力的。ヴァイオリン奏者としては、深呼吸をしながら、いつまでも歌い続けていたくなる曲ですね」

そしてロベルトの作品は、シューマンの室内楽作品の傑作であるピアノ五重奏曲だ。この日の共演者全員によるアンサンブルだ。

「この5人で共演するのは今回が初めてです。とても有名な曲ですが、ピリオド奏法によるいきいきとした掛け合いがもたらす新鮮な響きに注目していただきたいですね」

互いに影響し合い、支え合った二組の男女。彼らの音楽がもつ豊かなコントラストを、「現在」の佐藤俊介と共にたっぷり味わいたい。

佐藤俊介の現在 Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し

Interview

佐藤俊介



ピリオド楽器で演奏するロマン派の音楽

その場で生まれたかのような姿を届けたい

時代の壁をしなやかに超越し、どんな音楽にもいきいきと息吹を与えるヴァイオリニスト佐藤俊介。彼の「現在」に焦点をあてたシリーズ第2弾は、「ドイツ・ロマン派への新たな眼差し」。前期ロマン派時代を代表する作曲家フェーリクス・メンデルスゾーンには姉のファニー、そしてロベルト・シューマンには妻のクララという、音楽的才能に秀でた女性たちの存在があった。姉弟と夫妻、同時代を生きた4人の室内楽の名曲に、佐藤俊介が光を当てる。

取材・文 ● 飯田有抄 (音楽ライター)

佐藤俊介 ヴァイオリン Shunsuke Sato

モダン、バロック双方の楽器を弾きこなすヴァイオリニスト。バロックでは、コンチェルト・ケルンおよびオランダ・バッハ協会のコンサートマスターを務め、モダンでは、日本の主要オーケストラや、ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、フランス放送フィルハーモニー等と共演。2010年、第17回ヨハン・セバスティアン・バッハ国際コンクール第2位、聴衆賞受賞。出光音楽賞、S&Rワシントン賞等受賞多数。2013年よりアムステルダム音楽院古楽科教授。



チケット発売中

佐藤俊介の現在 Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し

2016年 2.13(土)開演15:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
[出演] 佐藤俊介(ヴァイオリン) 岡本誠司(ヴァイオリン) 原麻理子(ヴィオラ) 鈴木秀美(チェロ) スーアン・チャイ(フォルテピアノ)
[曲目] ファニー・メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲 二短調 作品11より フェーリクス・メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲第6番 へ短調 作品80 クララ・シューマン: ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22 ロベルト・シューマン: ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44
チケット(税込) 一般 正面席4,500円 バルコニー席3,000円 U-25*(バルコニー席対象)1,500円 メンバース 正面席4,100円
*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

【関連企画】レクチャー付き公開リハーサル開催決定!! 詳細はP.23をご覧ください



岡本誠司 ヴァイオリン Seiji Okamoto

2014年7月、第19回J.S.バッハ国際コンクールでアジア人として初の優勝、併せて聴衆賞も獲得。自然な音楽性と技術が高く評価。



原麻理子 ヴィオラ Mariko Hara

2006年ブラームス国際コンクール・ヴィオラ部門第2位。ジュネーブ音楽院ソリスト・ディプロマコースに学び、2009年首席で卒業。



鈴木秀美 チェロ Hidemi Suzuki

オリジナル楽器によるオーケストラ・リベラ・クラシカを結成し、指揮活動も拡大。山形交響楽団首席客演指揮者。



スーアン・チャイ フォルテピアノ Shuann Chai

オランダを拠点に活動し、ピアノとヒストリカル・ピアノの双方で高い評価を受けている。活動的で魅力あふれる演奏家。

Review

レビュー

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第30回
北川 翔 (バラライカ) & 大田智美 (アコーディオン)
8.25(火) 埼玉会館 大ホール



埼玉会館改修工事前の最後のランチタイム・コンサートは、ロシアの民族楽器バラライカとアコーディオンのデュオ。楽器についての解説や、2人は埼玉県民という地元トークを合間にはさみながらなごやかに、ロシア民謡を中心としたロシア音楽プログラムを楽しんだ。北川翔のバラライカの音色は優しく甘くとてもまろやかで、大田智美のアコーディオンは息の深い音色が魂を揺さぶる。そんな2人の息の合ったアンサンブルがとても心地いい昼下がり。白眉は《カッチーニのアヴェ・マリア》で、大きく呼吸するアコーディオンの音色と、バラライカの繊細な音色に息を飲んだ。

MUSIC

次代へ伝えたい名曲 第4回
福田進一 ギター・リサイタル
9.12(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



日本を代表するギタリスト福田進一が「次代へ伝えたい名曲」に選んだのは、超有名曲から秘曲まで、実に多彩なプログラム。2本のギターを作品ごとに弾き分け、楽器の個性も楽しませてくれた。バッハ《シャコンヌ》は舞曲の性格が前面に出された優美な演奏で、ウォルトン《5つのバガテル》は圧倒的な技巧で様々な響きを奏で、ブリテン《ノクターナル》は厳しさと優しさの対比が鮮やかな大曲。今回注目のマネン《幻想ソナタ》は多面的な表情が魅力的な作品で、「次代の名曲」になるであろうことに納得。アンコールの有名3曲も絶品。ギター・ファン大満足の演奏会となった。

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.27
ベンジャミン・グローヴナー ピアノ・リサイタル
9.5(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



イギリス最大の音楽祭「BBCプロムス」のラストナイトコンサート出演を目前に控えて彩の国に登場した実力派若手ピアニスト、グローヴナーが「ロマン派におけるバロック」というこだわりのプログラムを披露。メンデルスゾーンでは柔らかなタッチの前奏曲に対する躍動感あふれるフーガ、フランクでは壮麗な聖堂を築くような構成感のフーガ、など対位法の音楽がロマン派ならではの艶やかさで演奏された。後半のラヴェルやリストでは、力強い打鍵による色彩豊かな圧巻の演奏。弾き終えた後のにはかんだ笑顔の可愛さとは対照的に、若き巨匠の貫録を存分に聴かせた。

PLAY

『海辺のカフカ』
9.17(木)~10.4(日) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール



村上春樹の長編小説を蛭川幸雄が演出を手掛けた舞台が、ロンドン、NY公演を経て凱旋。「世界で一番タフな15歳になる」と心に誓って家を出た少年と人々との交流を、透明感ある世界に紡いだ。圧巻は、セットをおさめた巨大なアクリルケースが舞台上をめまぐるしく行き交い、それによって場面が展開されていく趣向。舞台化困難、あらゆるイメージが奔放な想像力で行き交う原作を見事に具現化した。寓話にリアルが透ける残酷が散りばめられた《世界》という森で、たくましく成長する少年の物語は、現代に誕生したビルドゥングス・ロマン(成長譚)だろう。

MUSIC

タンブッコ・パーカッション・アンサンブル
9.26(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



映画「007」最新作の音楽に参加することで話題のタンブッコ。午前のワークショップでは、キッチン道具を叩いて「音の会話」をしたり、指1本を手のひらに叩いて雨音を表現したりして、打楽器は身近にあることを伝えた。午後の演奏会は、《フーガの技法》は正統派の打楽器マリンバで奏でる一方、《エマトフォニア》の楽器は身体のみ。叩く場所、叩き方で音が変わり、4人で見事な音楽を展開した。箱の形の打楽器カホンを叩く《タンブッコのプレリアス》では生命の根源のリズムのような迫力で圧倒。退場の際は「雨音」を会場全体でやり、最後の最後まで楽しませてくれた。

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第31弾
『ヴェローナの二紳士』
10.12(月・祝)~10.31(土) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール



親友同士のヴァレンタインとプローティアスという紳士たち、ジュリアとシルヴィアという美しい娘たちの恋模様を軽快に描いた、シェイクスピア最初期の喜劇と言われる『ヴェローナの二紳士』。恋心に翻弄されて右往左往する若者たちを取り巻く、大公、侍女、従者、山賊、そして犬(!)といったキャラクターたちも生き生きと、どの場面も鮮やかに躍動した。小気味よい演技を見せた俳優たちによって、スラップスティック・コメディーのような展開に笑い、人生の苦さを感じさせるせりふにホロリとさせられ、若き作家の「書かずにおられぬ」といわんばかりの筆の勢いを堪能した。

MUSIC

タンブッコ in セツ梅酒造跡
9.27(日) セツ梅酒造跡 東蔵ホール(深谷)



埼玉県深谷市にある1694年に創業した「セツ梅酒造」跡地の酒蔵「東蔵ホール」。木造2階建ての母屋や煉瓦煙突を持つ釜屋などの一帯を通り抜けると見えてくる。前日に彩の国さいたま芸術劇場で観客を魅了したタンブッコが、酒蔵独特の雰囲気の中、木や石、身体などプリミティブなものを使ってライヒ、デュ・メイなどの現代作品を演奏した。なかでも圧巻は、日本の酒樽と枡を使った世界初演の新作《地酒》。大小の酒樽をいとも巧みに楽器として操り、枡と共に叩く！ 弾く！ 擦る！ 会場全体でリズムを感じ、彼らならではのパフォーマンスに酔いしれた。

PLAY DANCE MUSIC EVENT CINEMA

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場

3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。
光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

PLAY

11.21(土) ~23(月・祝)
大ホール
バリオ市立劇場『犀』
21(土)開演19:00 22(日)・23(月・祝)開演15:00
詳細はP.21

2016 1.15(金)
小ホール 開演14:00
彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～新春若手落語家競演会
詳細はP.21

DANCE

12.5(土)
第6回埼玉県障害者アートフェスティバル
近藤良平と障害者によるダンス公演
近藤良平とハンドルズによるダンス公演
『いつまでも 親のすねは かじれない』
小ホール 開演15:00 詳細はP.10-11

2016 1.28(木) ~31(日)
大ホール
インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック
『DUST—ダスト』
28(木)・29(金)開演19:00 30(土)・31(日)開演15:00
詳細はP.8-9

MUSIC

11.28(土)
音楽ホール 開演15:00 詳細はP.21
彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第5回
今井信子 ヴィオラ・リサイタル

11.29(日)
音楽ホール 開演15:00 詳細はP.21
ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.4
フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル

12.12(土)
情報プラザ 開演17:00 *入場無料
光の庭プロムナード・コンサート第80回
トワイライト・スペシャル
光の庭に降り注ぐドゥエンデ(精霊)～神秘的闇に煌く音～

情報プラザ 開演17:00 *入場無料
[出演]小野田良子(オルガン) & 高木潤一(フラメンコ・ギター)
[曲目]スヴェーリク:われらにみどり子が生まれたまいぬ
シベリウス(小野田良子編曲):フィンランディア
フラメンコ舞曲(作曲者不詳):ソレア
ムファット:パッサカリア
ショパン(高木潤一編曲):ワルツ 作品64-2 アンダルシアのショパン
※開演時間が通常と異なりますのでご注意ください。

バラのまち中央区アートフェスタ「Candle Art Night@芸術劇場」
[会場]彩の国さいたま芸術劇場 大階段(屋外)、情報プラザ(1階)
[キャンドル点灯時間]16:30～18:30(雨天の場合一部中止)
今回の「光の庭プロムナード・コンサート」は、バラのまち中央区アートフェスタとの共同開催です。優しくゆめめくキャンドルの灯りに包まれる幻想的な雰囲気の中、スペインの香り漂う美しい音楽をお楽しみください。

12.20(日)
音楽ホール 開演15:00 詳細はP.12-13
バッハ・コレギウム・ジャパン
ヘンデル《メサイア》

2016 1.16(土)
情報プラザ 開演14:00 *入場無料
光の庭プロムナード・コンサート第81回
～パイプと声のハーモニー～
[出演]原田真侑(オルガン) & 佐々木洋平(テノール)
[曲目]J. S. バッハ:〈われは満ちたれり〉BWV82より
ペーム:「イエスよ、汝はあまりに美しく」による変奏曲 ほか

2016 1.22(金)
音楽ホール 開演19:00 詳細はP.14-15
ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28
チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル
※チョ・ソンジン氏のショパン国際ピアノ・コンクール優勝に伴い、当初の公演日時より変更いたしました。

EVENT

12.23(水・祝) ~27(日)
大ホール
彩の国さいたま芸術劇場「劇場体験ツアー」
各日①11:00 ②13:30 ③15:30
※24日(木)は②③ツアーのみ
詳細はP.7

2016 1.17(日)
大ホール 開演13:00 詳細はP.7
埼玉伝統芸能フェスティバル
～鷲宮催馬楽・熊谷歌舞伎の世界～

●…彩の国さいたま芸術劇場 休館日

2015 11							12							2016 1						
S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5								1	2
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
																				31

【埼玉会館 改修工事のお知らせ】
2017年3月31日(金)まで、埼玉会館は改修工事のため休館とさせていただきます。

CINEMA

彩の国シネマスタジオ
【全席自由・各回入替制・整理券制】
大人1,000円 / 学生500円 [入場時に学生証をご提示ください]
※料金は当日現金支払いのみ
※2016年1月の「優秀映画鑑賞推進事業」は大人・学生とも1作品500円です。

12.17(木)～20(日) 映像ホール

『あん』(2015年/日本・フランス・ドイツ/113分)
[脚本・監督]河瀬直美
[原作]ドリアン・アシエ
[出演]樹木希林、永瀬正敏、内田伽羅、市原悦子 ほか
17(木) 11:00* / 14:30 / 18:00
18(金) 10:30 / 14:00 / 17:30
19(土) 10:30 / 14:00 / 17:30
20(日) 10:30 / 14:00
*17日11:00の上映会には、音声ガイドが付きまます。



©2015 映画『あん』制作委員会/COMME DES CINEMAS/TWENTY TWENTY VISION/ZDF-ARTE

2016 1.7(木)～11(月・祝) 映像ホール

『アリスのままで』(2014年/アメリカ/101分)
[脚本&脚色]リチャード・グラツァー&ウォッシュ・ウエストモアランド
[出演]ジュリアン・ムーア、アレック・ボールドウィン ほか
7(木) 10:30 / 14:00 / 17:30
8(金) 11:00 / 14:00 / 17:30
9(土) 10:30 / 14:00 / 17:30
10(日) 10:30 / 14:00 / 17:30
11(月・祝) 10:30 / 14:00



©2014 BSM Studio. All Rights Reserved.

2016 1.21(木)～24(日) 映像ホール

優秀映画鑑賞推進事業
A『めぐりあい』 B『八月の濡れた砂』
C『約束』 D『忍ぶ川』
21(木) 11:00C*① / 14:00A / 17:00D
22(金) 10:30B / 14:00D / 17:30A
23(土) 10:30D / 14:00C / 17:00B
24(日) 10:30A / 14:00B*② / 17:30C
※①11:00イヤホンガイドあり ※②14:00終映後、アフタートークあり(予定)

A『めぐりあい』(1968年/東宝/91分)
[監督]恩地日出夫 [出演]酒井和歌子、黒沢年男、田村亮 ほか
B『八月の濡れた砂』(1971年/日活/91分)
[監督]藤田敏八 [出演]村野武範、広瀬昌助、テレサ野田 ほか
C『約束』(1972年/斎藤耕一プロダクション/88分)
[監督]斎藤耕一 [出演]萩原健一、岸恵子、三国連太郎 ほか
D『忍ぶ川』(1972年/俳優座映画放送/120分)
[監督]熊井啓 [出演]加藤剛、栗原小巻 ほか

※古いフィルムのため一部音声が開き取りづらい箇所があります。あらかじめご了承ください。



『めぐりあい』

PLAY DANCE MUSIC

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書を提示してください。

PLAY

発売中
バリオ市立劇場『犀』
フランス語上演/日本語字幕付
11.21(土) 19:00 22(日)・23(月・祝) 15:00
大ホール
[作]ウジェーヌ・イヨネスコ
[演出]エマニュエル・ドゥマルシー＝モタ
[出演]バリオ市立劇場カンパニー
チケット(税込)
一般 前売 S席6,000円 A席4,000円
当日 S席6,500円 A席4,500円
U-25* 前売 S席4,000円 A席2,000円
当日 S席4,500円 A席2,500円
メンバーズ前売 S席5,400円
当日 S席5,900円

発売中

彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～新春若手落語家競演会
2016年 1.15(金) 14:00 小ホール
[出演]柳亭市馬(ゲスト)、古今亭文菊、林家たけ平、林家ぼたん、柳亭市弥
チケット(税込) 全席指定 一般3,000円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円
メンバーズ 2,700円

発売日 一般 12.13(日) メンバーズ 12.5(土)

『蜂の綿 -Nina's Cotton-』

詳細はP.3-6

発売日 一般 2016年 1.15(金) メンバーズ 1.9(土)

彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～精鋭若手落語会

2016年 4.15(金) 14:00 小ホール
[出演]柳家三三(ゲスト) ほか
チケット(税込) 全席指定 一般3,000円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円
メンバーズ 2,700円



DANCE

発売中
第6回埼玉県障害者アートフェスティバル
近藤良平と障害者によるダンス公演
近藤良平とハンドルズによるダンス公演
『いつまでも 親のすねは かじれない』
詳細はP.10-11

発売中

インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック
『DUST—ダスト』
詳細はP.8-9

MUSIC

発売中
彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第5回
今井信子 ヴィオラ・リサイタル
11.28(土) 15:00 音楽ホール
[出演]今井信子・中 恵菜*・山本 成*・鈴木慧悟*
(ヴィオラ)、キム・ソヌク(ピアノ) *野平作品共演者
[曲目]
野平一郎:〈トランスフォルマシオンI〉バッハのシャコンヌ
～4台のヴィオラのために～
武満 徹(細川俊夫編曲):ア・ストリング・アラウンド・オータム
武満 徹:鳥が道に降りてきた
バッハ(細川俊夫編曲):人よ、汝の罪の大きさを嘆け
ヘンデル(細川俊夫編曲):私を泣かせてください
ブラームス:ヴィオラ・ソナタ第1番 Ⅰ 短調
チケット(税込)
一般 正面席4,000円 バルコニー席3,000円
U-25*(バルコニー席対象)1,500円 / メンバーズ 正面席3,600円

発売中

ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.4
フランチェスコ・トリスターノ
ピアノ・リサイタル
11.29(日) 15:00 音楽ホール
[曲目]トリスターノ: KYEOTP
バッハ: バルティータ第1番 変ロ長調 BWV825
バッハ: バルティータ第6番 変ホ長調 BWV830
トリスターノ: 主題と変奏(新作世界初演)
バッハ: バルティータ第2番 変ホ長調 BWV826
トリスターノ: シャコンヌ(グラウンド・ベース)
チケット(税込)
一般 正面席4,000円 バルコニー席3,000円
U-25*(バルコニー席対象)1,500円
メンバーズ3,600円

次頁へ続く

Tickets チケット

発売中

**バッハ・コレギウム・ジャパン
ヘンデル《メサイア》**
詳細はP.12-13

発売中

**ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28
チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル**
詳細はP.14-15

発売中

**佐藤俊介の現在 Vol.2
ドイツ・ロマン派への新たな眼差し**
詳細はP.16-17

発売中

**ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.5
福岡洸太郎 ピアノ・リサイタル**

2016年 2.20(土) 15:00 音楽ホール
[曲目] ドビュッシー: 映像第2集
武満 徹: フォー・アウェイ
バッハ(福岡編曲): 憐れみたまえ、我が神よ(《マタイ受難曲》より)
武満 徹: リタニー・マイケル・ヴァイナーの追憶に— ほか
チケット(税込)
一般 正面席 3,500円 バルコニー席 2,500円
U-25*(バルコニー席対象) 1,000円 / メンバーズ: 3,200円



発売中

**彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第6回
小山実稚恵 ピアノ・リサイタル**

2016年 3.5(土) 14:00 音楽ホール
[曲目] シューベルト: 即興曲集より
パルトーク: ピアノ・ソナタ Sz.80, BB 88
レノン&マッカートニー (武満徹編曲): ゴールデン・スランパー
ショパン: ポロネーズ第6番「英雄」 ほか
チケット(税込)
一般 正面席 4,000円 バルコニー席 3,000円
U-25*(バルコニー席対象) 1,500円 / メンバーズ: 3,600円



発売日 一般 12.19(土) メンバーズ 12.12(土)

**彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第7回
館野 泉 ピアノ・リサイタル**

2016年 5.14(土) 14:00 音楽ホール
[曲目] バッハ(ブラームス編曲): ジャコンヌ
スクリャーピン: 左手のための2つの小品 作品9
光永浩一郎: サムライ (館野 泉に捧ぐ)
吉松 隆: NHK大河ドラマ「平清盛」より
〈遊びをせんとや
(海鳴り)
末吉保雄: 土の歌・風の声 (館野 泉に捧ぐ)
coba: 記憶樹 (館野 泉に捧ぐ)
— 「館野 泉 左手の文庫」助成作品
チケット(税込)
一般 正面席 4,000円 バルコニー席 3,000円
U-25*(バルコニー席対象) 1,500円 / メンバーズ: 3,600円



発売日 一般 2016年 2.6(土) メンバーズ 1.30(土)

**ピアノ・エトワール・シリーズ
アンコール! Vol.6
アレクサンダー・ガヴリリュク
Vol.29 田村 響
Vol.30 ニコライ・ホジャイノフ
Vol.31 キット・アームストロング
【4公演セット券】
詳細は次号!!**

INFORMATION

【参加者募集】 佐藤俊介の現在 Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し レクチャー付き公開リハーサル

佐藤俊介の現在 Vol.2公演に先駆けて、先着100名様限定の特別企画を開催いたします。
出演者自身による時代様式に則った奏法についてのレクチャーや普段ではなかなか観くことができないリハーサル風景も公開。演奏会をさらに愉しめるポイントにもなること間違いありません。どうぞこの機会をお見逃しなく!



[日時] 2016年 2.11 (木・祝) 15時~(約1時間を予定)
[会場] 彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール
[参加費] 1,000円 ※「佐藤俊介の現在 Vol.2」チケットをお持ちの方は無料
[申込方法] 往復はがきの往信面、またはメールに下記事項をご記入の上、お送りください。
①氏名 ②年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤公演チケットの座席番号
[定員] 先着100名 ※定員に達した場合は申込を締切いたします。予め、ご了承ください。
[申込先] 〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 事業部「佐藤俊介 公開リハーサル係」あて
またはメールアドレス music@saf.or.jp まで
[お問い合わせ] 彩の国さいたま芸術劇場 (音楽担当) 048-858-5506 公演詳細はP.16-17

【年末年始の休業について】

平素は当財団事業につきまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
彩の国さいたま芸術劇場の施設利用及びチケット販売について、下記の通り休業させていただきます。何卒ご了承くださいようお願い申し上げます。

施設のスケジュール			
	12月28日(月)	12月29日(火)~1月3日(日)	1月4日(月)
彩の国さいたま芸術劇場	通常営業	休館	通常営業

チケット販売			
	12月28日(月)	12月29日(火)~1月3日(日)	1月4日(月)
彩の国さいたま芸術劇場内 チケットセンター (窓口販売・電話受付)	10:00~19:00	休館のため休業いたします	10:00~19:00
インターネットチケット販売 【SAFオンラインチケット】	24時間ご利用になれます ※12/28(月)16時以降のお申込みにおいて、お渡し方法【配送】でのご予約チケットは、1/4(月)の発送となります。		

※メンバーズ事務局 (TEL: 048-858-5507) につきましても、12月29日(火)~1月3日(日)は休業とさせていただきますので、1月4日(月)10時以降にお問い合わせくださいようお願いいたします。
※埼玉会館は施設・設備の大規模改修工事のため、2017年3月31日まで(予定)休館となります。

サポーター会員

(公財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのがサポーター会員の皆様方です。(2015.10.25現在 / 一部未掲載)

(株)与野フードセンター / (株)亀屋 / (株)松本商会 / (有)香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行 / (株)パシフィックアートセンター
(株)アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京ガス(株) / カヤバ システム マシナリー(株) / (株)タムロン / (株)十万石ふくさや / 森平舞台機構(株)
東芝エルティエーエンジニアリング(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有)齋賀設計工務 / 武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル / アルピーノ村 / 国際照明(株)
埼玉スバル / 桶本興業(株) / (株)佐伯紙工所 / (株)太陽商工 / (株)しまむら / 不動開発(株) / ビストロ やま / 埼玉県信用金庫 / (株)栗原運輸 / 彩の国SPグループ
(有)プラネッツ / 関東自動車(株) / (株)デサン / セントラル自動車技研(株) / 丸美屋食品工業(株) / ポラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株)
公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株)価値総合研究所 / (株)埼玉交通 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株)ウイズネット / サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株)
五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株)エヌテックサービス / (株)クリーン工房 / (株)つばめタクシー / (株)サンワックス / (株)総合舞台
(株)タクトコーポレーション / (一財)さいたま住宅検査センター / 国大グループホールディングス / (株)NEWSエンターテインメント / オーガスアリーナ(株) / イープラス
六三四堂印刷(株) / 医療法人 櫻会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / 医療法人社団 山粋会 山崎整形外科 / サンケイリビング新聞社 / (株)三和広告社 / (株)セノン
ショッパー / (株)松尾楽器商会 / JA埼玉県中央会 / 日本大学芸術学部 / (株)川口自動車交通 / (株)ホンダカーズ埼玉 / ファミリーマートあすまや / (有)杉田電機
丸茂電機(株) / 太平ビルサービス(株)さいたま支店 / (株)片岡食品 / (株)協栄 / (株)ヨコハマタイヤジャパン / NTT東日本 埼玉事業部 / チャコット(株) / (株)平和自動車
光陽オリエントジャパン(株) / 埼玉建設(株) / さくら Music Office / クワバラ・パンぷキン / 駒橋内科医院 / 東和アークス(株) / テレビ埼玉 / 日本ピストンリング(株)
金井大道具(株) / 国立大学法人 埼玉大学 / (株)七越製菓 / ビーンズ与野本町 / (一社) 埼玉県経営者協会 / (株)コマーム / (株)原一探偵事務所 / (株)ファーストハウジング
飯能信用金庫 / 川口信用金庫 / 青木信用金庫 / 美術商(株)つくば / (株)和幸楽器 / 淑徳与野中学・高等学校 / 新日本ハウス(株) / 埼玉栄中学・高等学校 / 大栄不動産(株)
(株)アップオンリー AD / 埼玉東和薬品(株) / 相川宗一

お問い合わせ (公財) 埼玉県芸術文化振興財団 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

チケット購入方法について

インターネット

SAF オンラインチケット
で、発売初日10:00から
公演前日23:59まで
受付いたします。

【PC・携帯共通】
http://www.ticket.ne.jp/saf/

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

【クレジットカード決済】
または【コンビニ支払い】
▶ コンビニ発券
※チケット代他に、店頭発券手数料
(チケット1枚につき120円)が必要です。

電話予約

チケットセンター 0570-064-939
10:00~19:00 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)
※一部の携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

【クレジットカード決済】
または【コンビニ支払い】
▶ コンビニ発券
※チケット代他に、店頭発券手数料
(チケット1枚につき120円)が必要です。

窓口販売

彩の国さいたま芸術劇場窓口 (10:00~19:00) で直接購入
いただけます。電話予約したチケットの引取もできます。
※休館日をお確かめの上、ご来場ください。

メンバーズ 【口座引落】

【現金】または
【クレジットカード決済】
▶ その場で
チケットを
お渡します。
※手数料は
かかりません。

彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515

- 電車でのアクセス
JR埼京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分
- バスでのアクセス
JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き
「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。
※埼玉会館は施設・設備の大規模改修工事のため、2017年3月31日まで(予定)休館となります。



お金のことでそんなふうにならないで！

文●岩松了

もうだいぶ前になるが、松本清張原作でタイトルを忘れてしまったが、キャッチコピーが〈6歳の子どもに殺意があるのか!?〉という映画があった。ある殺人事件で、6歳の子どもが犯人だという推理に発展した刑事が、そう問われて、しばし黙したあと「ある……」と言うのだ。その裏に刑事自身の6歳の時の母の愛人だった男への明確な殺意と殺人が隠されている、というドラマだった。

ふとそのことを思い出した御近所のエピソードを今書いてみようと思うのだが、その映画のキャッチコピーにならえば、この御近所のエピソードにはどんなコピーがいいのか、一緒に考えてほしい。

まさに6歳くらいの女の子たちがSさんちに集まって女の子らしい遊びに興じている。たぶん3～4人いたのではないだろうか。いや、私も妻から聞いた話だから正確なところは分からないのだ。そのうち、誕生日にケーキを食べるか食べないかって話になっただけ。みんな「ケーキを食べる」と言った中に、一人だけ特に誕生日にそういうことをやらない家の子がいた。そのことが珍しいほかの子どもたち。誕生日なのにケーキを食べない子はしだいに微妙な立場に追い込まれ、ついには腹を立てて、Sさんちを出た！

Sさんちは玄関を出ると石の階段があり、腹を立てたとなれば、下の通りに出るまでにたぶん30段くらい駆け降りることになる。その子を追いかけて出たSさんちの子。

階段の一番上に出たとき、駆け降りた子は、一番下に達していた。「待ってよ！」と言ったSさんちの子。階段の上から、一番下にいるその子に向かって、こう言ったというのだ。「お金のことでそんなふうにならないで！」

6歳の子どもがだ！これは、6歳の子どもに、女の、という属性を付け加えた方がいいだろう。「6歳の女の子に○○○○○○があるのか!?」

この○○○○○○の部分にどんな言葉が入るのかということなのだが、さて、一緒に考えていただけますか？

いわまつ・りょう

劇作家、演出家、俳優、映画監督と幅広く活躍。

さいたまゴールド・シアター 「船上のピクニック」「ルート99」の劇作を手掛けた。
11月シアターコクーン・オンレパトリー2015『青い瞳』（作・演出）を上演。